

事務局 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985  
 HP: http://www.matsue-rotary.jp E-mail: office@matsue-rotary.jp

**第 3469 回例会** (令和 7 年 9 月 3 日・水)

**今週のプログラム**

9月3日(水) ゲストスピーチ  
 「薬用作物の里づくり共創プロジェクト  
 ー栽培から出口形成まで。産官学民で取り組む地域づくりー」  
 島根大学医学部附属病院  
 脳神経内科 医師 かたおか りょう  
 合同会社薬雲 やくも 代表 片岡 諒氏

**●例会変更のお知らせ**

月 日	クラブ名	受付場所
9月16日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
9月25日(木)	松江東	ホテル一畑
9月29日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
9月30日(火)	境 港	境港ロータリークラブ事務局 (境港市上道町3147)

**次週のプログラム**

9月10日(水) ゲストスピーチ  
 「郷土の芸術を鑑賞する例会  
 地元の写真家 かわもとつぐのり 川本貢功氏を招いて」  
 写真家 かわもとつぐのり 川本貢功氏

**2025年9月～10月の予定**

- 9月10日(水) 郷土の芸術を鑑賞する例会  
 時間：12時30分～13時30分  
 場所：(株)佐藤組 堂形町737-3
- ※ 9月17日(水) 休会
- 9月24日(水) バイキング形式の食事
- 10月3日(金) 地区大会ゴルフ大会
- 10月4日(土) 新会員セミナー
- 10月5日(日) 地区大会本会議 10時～15時  
 米子コンベンションセンター  
 記念講演 政治評論家・作家 竹田恒泰氏

**●●● 誕生月 ●●●**

伊藤 昭博会員 3日 小村 光寛会員 20日  
 佐藤 亮治会員 24日 堀江 貴会員 26日

**●●● 出席100%賞 ●●●**

原田 光明会員 6年 景山 直観会員 6年

**第3468回例会記録**

令和 7 年 8 月 28 日 (木・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	58	34 (リアル)	24	66.67	86.79

メーキャップ：錦織、山田 (松江南)

- 【松江4クラブ合同例会】** ホスト：松江東RC  
 司会：SAA 桑谷 優子
- 〈例会〉 18:30**
- 開会点鐘 松江東RC会長 藤原 勝
  - 国家斉唱 ソングリーダー 桧垣 智仁
  - ロータリーソング「奉仕の理想」
  - 「四つのテスト」唱和  
 奉仕プロジェクト委員長 中島 泰司
  - ホストクラブ会長挨拶 松江東RC会長 藤原 勝
  - パストガバナー挨拶  
 第2690地区 地区パストガバナー 石倉 貞昭

- ガバナー補佐挨拶  
 第3グループガバナー補佐 小林 祥泰
- ポリオ根絶委員会 米子東RC会員 上森 英史  
 世界ポリオデー (10月24日) プロジェクト ポリオ根絶広報ライドについて

**各クラブ会長/幹事/新会員紹介 (2025年1月28日以降入会) /米山奨学生の紹介**

- 〈クラブ別に登壇 各クラブ幹事よりまとめて紹介〉
- 幹事報告 松江東RC幹事 和田 紀幸  
 地区大会参加について

- 出席報告 出席・親睦リーダー 山藤 春行
- 閉会点鐘 19:30 松江東RC会長 藤原 勝

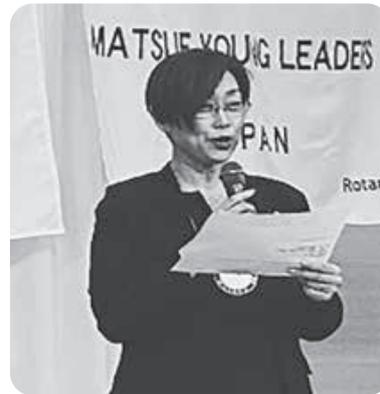
〈懇親会〉 19:40～

- 司会：松江東RC出席・親睦Sリーダー 田代 緯
- 開会挨拶 出席・親睦リーダー 山藤 春行
- 乾杯 第3グループガバナー補佐 小林 祥泰

- アトラクション  
歌と語りのステージ 西園寺 愛氏  
～音楽・文学・創作のクロスオーバー～
- 閉会挨拶 松江東管理運営委員長 林 利宜
- ロータリーソング「手に手つないで」  
ソングリーダー 桧垣 智仁
- 閉会 20:45

# 松江4クラブ合同例会

2025年8月28日(木) 18:30～20:45  
於：ホテル一畑 平安







木村 俊一郎

2025年4月下旬、夫婦で「2025大阪・関西万博」に行ってきました。今でこそSNSなどで肯定的な声が増えていますが、当時は「税金と資源の無駄だ」とか「わざわざ行く人の気が知れない」といった否定的な意見のほうが多かった気がします。

当日は朝9時を目指して会場へ。平日だったこともあり、30分ほど並んだだけで入場できました。事前に「イタリア館は絶対に見ておいたほうがいい」とYouTubeで聞いてはいたのですが、正直なところ詳しい展示内容は調べもせず、「とりあえず行ってみよう」くらいの気持ちで足を運びました。

中に入るとまず驚いたのは、展示物との距離の近さ。数千年前に作られた本物の芸術作品を、手を伸ばせば届きそうなくらいの距離で鑑賞できるんです。特に圧倒されたのが「ファルネーゼのアトラス像」。高さ2メートル、重さ2トンの大理石像で、普段はナポリ国立考古学博物館に収蔵されていて、国外に出ることはほとんどない貴重な作品だそうです。今回の万博のために特別に空輸されたとのことで、筋肉や血管までもが生きている



かのように表現され、その迫力にはただただ息をのむばかりでした。さらに、アトラスが担ぐ球体には星座や子午線が刻まれていて、当時の最先端の天文学が反映されているとか。芸術的にも学術的にも、とてつもない価値のある作品だと実感しました。

そのほかにも、レオナルド・ダ・ヴィンチのデッサンやカラヴァッジョの絵画など、誰もが知る巨匠の本物の作品が展示されていて驚きの連続。

AIやドローン、プロジェクションマッピングといった最新技術を前面に押し出すパビリオンが多い中で、歴史的かつ学術的に価値ある芸術作品を惜しみなく貸し出してくれたイタリアの文化的度量と誇りには、心から感銘を受けました。

予備知識を持っていればもっと深く感動できたのかもしれませんが、何も知らずに訪れても「本物」だからこそ伝わる迫力と説得力がある——そのことを改めて実感しました。芸術の国イタリアの底力を肌で感じられるイタリア館。大阪・関西万博は10月13日まで開催中です。間違いなく必見です！

(建築)